

日本学術会議・史学委員会・「博物館・美術館等の組織運営に関する分科会」議事要旨
(第24期・第2回)

開催日時 2018年3月30日(金) 14:00~16:00

開催場所 日本学術会議 6階 6-C(1)会議室

出席者: 秋山聰、泉武夫、小佐野重利、小津稚加子、菊地芳朗、木俣元一、小池寿子、
中瀬勲、芳賀満、松田陽、三浦篤

欠席者: 井手誠之輔、稲村哲也、井上洋一、佐藤宏之、真鍋真

議事概要

1. 前回議事要旨の確認

第24期第1回「博物館・美術館等の組織運営に関する分科会」議事要旨(案)が修正の上、承認された。

2. 本分科会・日本博物館協会共催の合同公開シンポジウム「博物館法をはじめとする関連法等の改正に向けて」(2018年1月20日(土)開催)の報告および提言に関する今後のアクション

委員会現委員中6名が参加したこの催しについて、栗原裕司氏による『新美術新聞』掲載報告記事や、『博物館研究』掲載の小佐野委員長によるエッセイ等を提示しつつ、芳賀副委員長から報告がなされた。また芳賀副委員長による合同公開シンポジウムでの報告についても、詳細な内容紹介がなされるとともに、今後のアクションについて議論が交わされた。

3. 今期および今年度の検討審議事項の絞り込み

学芸員制度の改正についての提言作成を視野に、研究機関指定を受けている27館を主な対象としてアンケート調査を行なうこととなった。アンケート項目については次回までに各委員からの提案をもとに原案を作成することとなった。

また、小津委員を中心としての博物館・美術館の財務諸表についての研究を継続することが確認された。

4. その他

1. CIHA(国際美術史学会)東京コロキウムについて

日本学術会議の後援が得られる見込みであると小佐野委員長から報告があった。

2. ICOM京都大会について

「博物館の定義と可能性」についての常設の委員会のラウンドテーブルに、本分科会として松田委員に参加を依頼することになる旨、委員長から報告があった。

3. 次回日程について

7月第4週（27,28日）で調整することとなった。

配布資料

1. 第1回分科会議事要旨（案）
2. 『新美術新聞』掲載の栗原裕司氏による1月20日合同公開シンポジウムの報告記事（2月1日）
3. 委員長による巻頭エッセイ（『博物館研究』Vol.53 No.4 (No.598) 2018年掲載）
4. その他